

勝浦町立生比奈小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 136名
- ② 校訓
「ひとりみんなのため、
みんなひとりのために
励まし合い助け合おう」
- ③ 環境目標・テーマ



「緑豊かで美しい町“ふるさと かつうら”の環境を守るために、自然にやさしくし、学校を大切にしよう」

2 行動方針

- ① 学校における節電に努めます。
- ② 学校におけるごみの分別に努めます。
- ③ 牛乳パック・空き缶・プルタブを回収し、リサイクルに協力するとともにごみを少なくします。
- ④ クリーン作戦を行い、学校や地域の美しい環境を守ります。

3 行動

- ① 節電，ごみの分別



節電を呼びかけるシール



教室のごみ箱

児童や職員が協力して、使用していない教室や廊下，階段，トイレ等の照明をこまめに消すように心がけている。そのために電灯のスイッチに節電を呼びかけるシールを貼って注意を促している。細長い形の職員室も，授業で職員のいない場所の照明は消すように努めている。

各教室では，燃えるごみとプラスチックごみにごみ袋とごみ箱を分けて，毎日きちんと分別している。電池・瓶・缶・ペットボトル等は，職員室のごみ箱で細かく分別している。

- ② 牛乳パック・空き缶・プルタブ回収

牛乳パックのリサイクルは平成18年度より行っている。係が5Kgごとにまとめて記録をとってから保管室に集めている。年間約300kgの牛乳パックをリサイクル

している。体育館の玄関にも牛乳パックの回収ボックスを置いてあるので、保護者や地域の方も協力してくれている。収益は、花の苗の購入等、環境美化に利用している。

アルミ缶、プルタブ、ペットボトルの蓋の回収は、18年度より、勝浦中学校の生徒会の呼びかけで始まり、校内でも、集会・ボランティア委員会が全校朝会で呼びかけている。家庭でもアルミ缶やプルトップ集めに協力してくれているので、たまったプルタブやペットボトルの蓋を大量に持ってきてくれることがある。



牛乳パックの計量



空き缶回収



プルタブ回収の呼びかけ

③ 勝浦川クリーン作戦，栽培活動

勝浦町では月に一度、全町一斉清掃を行い、地域の環境美化に取り組んでいるが、本校でも、8月の最終日曜日に親子清掃ボランティアで通学路の空き缶拾いを行っている。また、5月30日のごみ0の日には、毎年全校縦割班で勝浦川の清掃活動を続けている。本年は勝浦川クリーン作戦を実施している子どもたちを見た地域の方が、1名だが飛び入り参加して下さった。校内では、毎月第2・第4水曜日の朝の活動の時節をクリーン作戦として、運動場・前庭・中庭の草抜きや清掃を行うとともに、花いっぱいの活動により、学校の環境美化に努めている。



勝浦川クリーン作戦



栽培活動

4 具体的効果

- ◆ 節電シールやごみの分別を呼びかけることにより、節電やごみの分別への児童の意識が高まってきた。
- ◆ 牛乳パックやアルミ缶、プルタブの回収の取り組みを通して、児童だけでなく家庭や地域の方々からの協力も得られるようになってきた。

5 改善点

- ◆ 各学年に応じて、行動する意欲につながるような環境学習を計画的に実施したい。
- ◆ 今以上に一人一人の節電に対する意識が高まり、実践化できるようにさらに取り組みを工夫していきたい。